



人と環境の未来をまもる ウツノミヤ宣言

私たちを考えました。
社会のために、持続可能な何ができるのだろう?
次の世代、未来を生きる子どもたちのために、
できることって何だろう?

詳しくは

宇都宮製作

検索



Since 1903 『まもる』を製る!
宇都宮製作株式会社
Utsunomiya Seisaku Co.,Ltd.

<https://www.u-seisaku.co.jp/>



手袋廃棄ゼロ活動

1903年の創業以来、手袋やマスク、キャップなどの衛生用品を通じて人と環境をまもり続ける（持続可能な開発目標）への関心が世界的に強まるなか、同社は事業を通じて人と環境の未来をまもる活動「ウツノミヤ宣言」を提言し、21年7月にリニューアルした「ウツノミヤ宣言」を掲げた上で「会員サイトでその活動を紹介している。

ウツノミヤ宣言は、人と環境にやさしい「製品」を、人と環境にやさしい「会社」に、人と環境にやさしい「製品」では、使いきり手袋の「商品パッケージ」のコンパクト化や「衛生的かつ使いやすいパッケージ開発」などを進めていく。

パッケージのコンパクト化では、手袋の内容量はそのままに、パッケージサイズを抑えた設計を実現。「パッケージが小さくなる分、資源量の削減

境にやさしい「会社」へ、と環境にやさしい「会社」へ、や在庫の省スペース化につながる。さらに輸送時の箱潰れが減ったという（同社）。話も聞いており、当社・阪市中央区、大西浩太郎社長（環境やSDGs（持続可能な開発目標）への関心が世界的に強まるなか、同社は事業を通じて人と環境の未来をまもる活動もある）が、ウツノミヤ宣言提言後には新しく始めた活動もある」としている。

社全体で持続可能な活動に力を入れている（同社）としている。たとえば、人と環境にやさしい「製品」では、使いきり手袋の「商品パッケージ」は、取出口を右側の袖口方に配置する（同社）。指先や手のひらに触れることが多く手袋を取り出せるようにした。また、取出口を2段階式にし、手袋の残量が少なくなった時は取出口を広げて手袋を取り出しやすくなった。同社はこの特許を2017年に取得している。手袋を取り出す（同社）と語る。同社は今後も「ウツノミヤ宣言」を柱に、人と環境の未来を守る活動を推進していく。

「人と環境をまもる活動」を開催 会社全体で持続可能な活動に注力